

自治体改善の輪 通信 2018 No7

5/27 第1回自治体改善マネジメント学習会 in 九州を実施



=2018年度 第1回学習会テーマ= “三方よし”の職場づくり

※「“三方よし”の職場づくり」は、2018年4月から『ガバナンス』（ぎょうせい）誌上にて研究会メンバーが執筆している連載コラムのタイトルです。

「働き方改革」が叫ばれる中、少しでも多くの住民ニーズに応え、より良い地域になるよう、職場では課長・係長クラスの職員のマネジメント力がますます求められています。

この学習会は、2018年1月20日に開催した「第1回自治体改善マネジメント学習会」でも活用した「自治体改善ステップアップシート（職場・所属長編）」の着眼点をもとに、職場でのマネジメントの実践状況を共有するところから、現状の課題や次に取り組む目標と方法を一緒に考え合うことを目的に実施しました。

今回は、地方ではじめての九州開催です。
会場となった福岡県福津市の皆様のご協力をいただき、開催することができました。大変ありがとうございました。



宮地嶽神社から宮地浜につながる参道

自己紹介 ～今日、参加しようとした思いは？～

オープニングでは、参加した26名が、一言「今日参加しようとした思い」を添えて自己紹介しました。それぞれに悩みや課題を抱えながらも、皆さん職場や組織環境を良くしたいという熱い思いを持って参加していました。

研究会では九州開催ということもあり、開催地福津市からは、原崎市長、松田副市長はじめ、たくさんの職員が、また、福岡県内だけでなく、広く長崎県、佐賀県、熊本県、宮崎県からも多くの方が参加されました。役職は、大半は課長・係長の立場の方でしたが、所属は管理部門だけでなく現場担当部門の方も多く、技術職や20代の職員もいて、幅広い層の集まりとなりました。

職場のマネジメントを語り、学び合う場づくり

自己紹介の後、自治体改善マネジメント研究会代表 元吉(行政経営デザイナー)より、研究会の発足から本日の学習会の開催に至った経緯と、研究会で開発した“いい役所”をつくっていくために必要な5つの改善レベルと「自治体改善ステップアップシート」の全体像について説明し、学習し合う場づくりのポイントを共有しました。

地方分権が進み地方創生、「働き方改革」への対応が求められる全国の現状、全国自治体の組織経営についての事例紹介も織り交ぜ、「自治体改善ステップアップシート」職場・所属長編を紹介し、学習の場がスタートしました。



ステップアップシートの活用事例を紹介

グループワークの前の実践報告として、研究会 第1期研究員の後田和也(三重県 人事課)と第3期研究員の中道真(神戸市 教育委員会学校環境整備課)より、自分の職場で実際に「自治体改善ステップアップシート(職場・所属長編)」を活用した事例を、「働き方改革」に対する取り組みを交えて報告しました。

事例を通じて、各ステップの着眼点が、職員と仕事に向き合う姿勢や職場づくりの目線を合わせたり、市政全体の方向性と異動前後の職場の違いをとらえるうえで、役に立つことがわかってきました。

自職場のマネジメントをふり返る

続いて、各自がステップアップシートを実際に記入し、これをもとに自職場のマネジメントをふり返る対話に入りました。

7つのグループに分かれ、ステップアップシートに書いた職場の状況を共有しながら、互いに悩みを分かち合い、なぜそうなっているのかについて背景状況を理解し合う対話を行いました。

対話の中であった主な意見は、

- ✓ 目標は明確だが、プロセスを話し合う時間をしっかりとれていない
- ✓ 組織目標のレベル、設定の方法などがよくわからない
- ✓ 組織運営のための目標設定をする仕組みがない
- ✓ 改善改革が個人レベルにとどまっている
- ✓ 業務改善をスタートするにあたり、改善の目的や意図が伝わるのか不安である
- ✓ 一体感を持って仕事するには「頑張ろう」の掛け声だけではダメ
- ✓ 机上とデータだけでなく、本質は現場にあることが多い
- ✓ 全ての仕事において、自分の所属がどのようなミッションで存在するかを知ることは、組織の基本であるなど、チームとしての一体感を持てるよう職場をマネジメントすることの大切さと難しさが積極的に交わされました。



重要課題の選定とステップアップのアイデア出し

グループディスカッションの後半では、ステップアップシートの中から一番大切だと考える項目とステップアップの段階を選び、今後の取組みアイデアを出し合いました。

全体会では、グループごとに出た意見を、模造紙にマネジメントの課題とステップを分けて紹介いただきました。こうすることで、自治体や部門を超えてもノウハウやアイデアの共有がしやすくなります。

最後は、みんなで円になり、今日の学習会の気づきを共有しました。「業務時間中や時間外でのミーティング方法の良きアドバイスをいただいた。」「つい自分の目線で話しがちになるが、部下と同じ目線で話し合うことが必要。」「組織が向かおうとしている方向に対して、常に動機付けしていくことで、人は変わり、組織も変わるのではないか。」といった学びの実感が語られました。



マネジメントの実践をふり返る対話から改善へ



全国で公務員の集まる場は多く行われるようになりましたが、その内容は有識者の「講演会」や優秀事例について聞く「勉強会」、講師の先導によるワークを体験する「研修」がほとんどです。でも、知識や情報、スキルは、「受け取る」だけでは、「使う」力として身に付けることにはつながりません。

地方分権が進み、地方創生が求められる時代には、地域の特性をとらえ、自分たちの力で独自の解をつくり出していく必要があるのです。

今回の学習会に参加して、

- ◇ 課長同士こんなに話す機会がない、今回は特に女性管理職と話ができてよかった
- ◇ 組織運営という漠然としたものに、ステップアップシートの具体的視点で整理して現場を確認することができた
- ◇ 他市のことを知ることができると同時に、自分の市のことも知る機会になった

といった感想がありました。今回のように、相互に実践経験をふり返って学び取る「オフサイトミーティング」による対話を活用した新しい「学習会」の場づくりをこれからも継続して、職場の改善に役立てていきたいと思っています。

九州では、秋に第2回を開催する決定もされました。ぜひまた共に「学習」しましょう！

(文責：福岡県福岡市 吉崎)